

《課題名》

肝胆膵手術後 *Aeromonas hydrophila* 検出例の多施設共同研究

《研究対象者》

2008年1月1日～2017年12月31日に、肝胆膵外科領域における手術後、*Aeromonas hydrophila* が細菌培養から検出された方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただきず、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

研究課題名：肝胆膵手術後 *Aeromonas hydrophila* 検出例の多施設共同研究

研究期間： 滋賀医科大学学長承認日（2018年5月1日）から2021年3月31日まで

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 《所属》外科学講座 《氏名》飯田洋也

（2）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

Aeromonas hydrophila は、主に淡水、海水、土壌中に生息している細菌です。人への感染経路には経口感染があげられており、腸炎を引き起こす食中毒菌です。軽い症状が多いとされていますが、まれに重篤な感染症をおこすといった報告があります。重篤になった場合、その致死率は非常に高いです。

今回は、肝胆膵外科手術後に *Aeromonas hydrophila* が検出された方の、術後経過を多施設で検討し、重篤な感染症にいたる原因を明らかにすることを目的としています。

（3）研究の方法について

《研究の方法》

カルテに記載された情報を基に、以下の項目を調査させていただきます。

年齢、性別、職業、手術既往（術式記載）、BMI、糖尿有無、ステロイド有無、肝炎ウイルス、採血結果、術前に行った処置とその期間、原因の疾患、術式、胆道再建有無、術中の胆汁もれ、手術時間（分）、出血量（ml）、術後の使用抗菌薬（予防使用）、術後入院期間（日）、転機（生存/死亡）、合併症の種類、その他経過で気になったこと、*Aeromonas hydrophila* の検出場所、時期と材料、検出した *Aeromonas hydrophila* と使用した抗菌剤

（4）個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用（又は他の研究への提供を）停止することができます。停止を求められる場合には、（H31年12月31日までに）下記（8）にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 《窓口所属》 外科学講座 《対応者氏名》 飯田洋也

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2238

メールアドレス：hqsurge1@belle.shiga-med.ac.jp